

# 一般質問

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。

この質問を「市政に関する一般質問」といいます。今定例会では、20人の議員が一般質問をしました。その状況について、ご紹介いたします。

## 市民後見人制度を生かす体制づくりを！

齋藤 久代 議員

**問** 市民後見人サポートセンターを立ち上げると認識しているが、その時期は。健康福祉部次長 平成28年度の設立を目標としている。市民後見人の皆さんと社会福祉協議会と市の三者で検討して進めたい。

**問** 28年度だけで、はつきりしていないのか。

**答** NPO法人東葛市民後見人の会では、正会員82名、賛助会員56名会員がいる。その中で単独受任はゼロ、司法書士の団体との共同受任が6件で、残りの方は意欲があっても家庭裁判所の認可がなかなか下りず、非常に厳しいものがある。必要性を感じているので慎重に進めていきたい。

**問** 後見人制度を知らないために市民後見人を頼めないケースがあると思う。市長の申し立てはあるのか。

**答** 事例はない。**問** 必要な方がいないわけではなく、つなぎ方がうまくできていない。行政だけでなく市民後見人の会、社会福祉協議会と連携して市民後見人制度の体制をつくってほしいが。

**市長** 独自調査や先進的な取り組み事例も参考に、

28年度のサポートセンター設置に向けて検討したい。

## 原発事故の対応

平 由子 議員

**問** 福島第一原発事故への市の取り組み。市が責任を持って行わないと将来的に大変な事態になる。また、今後事故が起こったときの対処を見据えないと大変なことになると思うが。

**市長** 当市は重点調査地域の指定を受け、それに基づき学校の用地等の公共施設から除染をしている。健康調査は国の指導のもと医学的、科学的な基準に基づき対応すべきと考える。

**総務部長** 県内には東海村に原子力発電所があるため、県で茨城県広域避難計画を策定し、関連する市町村が計画を作り、支援策を県と協議をしている。

**まちづくり振興部次長** 1月に公共施設の除染を完了した。個人住宅については現在調査を行い、50%完了した。3月上旬から一般住宅の除染作業を進めたい。

**問** この先、いろいろ被害を訴える人々が出てくる。と予想される中、尿検査はホールボディカウンターよりも詳しく体の中をよく調べられる。そのようなシステム作りをしてほしい。

**健康福祉部長** 甲状腺エコー検査は市内2カ所、近隣でもいくつかの病院で実施。**問** 尿検査を実施しているところは。

**答** 現時点では把握していない。

## まち番・防災監室の設置

染谷 和博 議員



白山交番

**問** まち番について、以前質問した際、西口に交番設置が予定されている。整合性をとり進めると答弁した。

その後、白山交番の開所により井野交番が閉所になった。まち番の進捗状況は。

**総務部長** 井野交番が廃止されたことも含め、27年度設置を目標に警察と協議をしたい。旧取手地区の東方面に場所を選定し、1つの

モデルとして内容を十分検証し、その効果を見極めた上で、その後のことを考えるという基本的な考え方を持っている。

**問** 静岡県小山町は、平成22年9月9日の台風9号による1時間に120ミリを超える豪雨により甚大な被害が発生したが、死傷者はいなかった。日ごろの防災意識の高さのたまものではないか。町では防災監室を設置し防災対策に当たっている。当市において防災監室設置の考えは。

**総務部長** 3・11のときは災害対策本部、昨年の台風26号、今回の積雪の災害では応急処理本部で対応をした。これらの経験から学んだことを早めに対応していくことで現在進めている。防災監室を設置するまでには至っていない。

**問** 近隣には専門の職員がいると聞く。状況は。  
**総務部次長** 牛久市2名、龍ヶ崎市1名、危機管理室で危機管理監の役職名で自衛隊の方を採用している。

## 障がい者支援

阿部 洋子 議員

**問** (こども発達センターで)ペアレントトレーニング事業を10月から2月まで行った。その成果は。

**障害福祉課長** 保護者である母親10名が最後まで参加した。終了後のアンケートで、親は、子育てが楽しくなった、幅が広がった、怒ることを少し控えるようになったとの報告があった。

子どもは、表情が穏やかになった、片付け、着替え、歯磨き、排せつなどに変化があったとのことである。トレーニングの前と後の評価の結果では、育児ストレス軽減、抑うつ測定値の軽減が見られた。

**問** 今後の取り組みは。  
**答** 26年度は基本と応用のプログラムに分け、それぞれ8回の講座で、前期、後期の計4コースの開催を予定している。

**問** 視覚障がい者支援について、テレビ放送が地デジに移行し、ラジオはテレビ放送を受信できなくなったが、テレビを聞けるラジオが開発された。情報意識疎通伝達用具の指定を求める。

**答** 視覚障害者の方に必要な製品であるか、ニーズを把握したい。

**問** 盲人安全つえのスペア支給については。

**答** 補装具の支給は原則1種類につき1個だが、国からスペアについては、普通用と携帯用の折り畳み式のそれぞれが別であれば支給できると示されたため、支給の準備をしている。